

発行
2017年
7月
1日

み と し ん ぶ ん
未杜新聞

地域通貨：未杜

65
号



あなたの参画が多様性を認め合うコミュニティづくりの輪へ
あなたの余剰を分かち合う優しさが丹波の自然をまもる輪へ
あなたのすてきな能力の提供がコミュニティの自立と共生へ

人権・環境・共生



発行所：NPO 法人丹波まちづくりプロジェクト事務局：〒669-35 丹波市氷上町新郷 1574
Tel/Fax0795-82-0065 E-mail:syunko27@yahoo.co.jp URL:<http://mito.tamba.tv>

編集人：赤井俊子

大野義昭 (未社会員 埼玉県在住)

人と人の出会いの中で

彼の芭蕉翁の「奥の細道」に「月日は百代の過客にして行き交う年もまた旅人なり。・・」とある。いつも、高校の古文・漢文のA先生の授業風景を想う。自身の事を顧みる時、無欲に文化財関係の仕事に携わっていた「職人氣質」の父、兄の事、海外赴任の際、手許にある柏原八幡宮のお守りを会社の寮に届けてくれた母の愛を想う。小学4～6年生の3年間、担任頂いたF先生には、「努力」の言葉を頂き、学ぶ事の面白さを知った。中3年時、高校志願書提出日を間違え、兄の友人で担任のM先生に職員室で怒られた。学年主任のFJ先生が、「大野、明日持って来ればいいよ」との助け舟で事なきを得た。母校が選抜野球出場校に選ばれた理由とし、当時の東北訛のA校長先生が挙げられた「質実剛健」と「品格」と言う言葉が心にのこる。

2010年6月退任引退後も新旧併せ人との出会い、交流は、絶えない。幾度か機会を得、欧州訪問に随行の際の元社の会長の言葉通り、「人と人との交わりは須らく信頼関係が基となる」を基本に、在住市の日本語教室等で会う外国の方々、横浜の稽古事の諸先輩、学び舎、会社、業界の旧友や知己との交わりを愉しんでいる。関東でも丹波の郷友も含め数多の知己との交流もある。昨今「山ざる」郷友会誌の編集手伝いを通じて新しく丹波の知人も出来た。

先日、米国の元取引先の知人から「このアドレスは、大野さんのものですか？」とのメールを受信した。嘗て滞在したドイツの会社の役員、仲間からは、折に触れメールを頂き、様々な分野、年齢、国の方々との出会いが、引退後の生活に彩を添えている。日本語教室でお相手するスリランカ、ガーナ、ウズベキスタンの留学生家族が9月に帰国予定で、彼等とのメール交流も今後愉しみである。交流6年になる中国人の方には、門外漢の事案も相談される。会う人、皆師である。勿論、家内との出会いが最も重要なイベントである。

人生は人との出会いでありその出会いが日々の生活を豊かにしてくれている。未杜を通じて故郷の方々が豊かな人生を楽しんでおられる様子をはるか埼玉から感じている

<予告>

○ 7月未杜カフェ *特別企画*
丹波まちづくりプロジェクト主催で
地域づくりについてのパネルディスカッション
を開催します。会員の皆様のご参加をよろしく
お願い致します。

日時 7月29日（土）13時30分～16時

場所 氷上住民センター大会議室

内容 誰もが輝いて生きられる地域づくり
別紙チラシを同封しています。

一般参加者をお誘いの上みなさんのご出席
をよろしくお願いいたします。

*8月未杜カフェはお休みします

○ 9月未杜カフェ

第二回「コーヒーハウス未杜」の開催
昨年コスモス開花の時期に合わせて清住で開催
した「コーヒーハウス未杜」を今年もオープンし
ます。今年も開催してほしいという声をきき再度
挑戦することになりました。秋の一日コスモスを愛
でながらのんびりコーヒーハウスでお過ごし
ください

日時 9月27日（水曜日）10時～15時

場所 氷上町清住 420 長久邸

内容 ケーキセット 500円

未社会員（400円+50未杜）



コーヒーハウスに集う人々（2016年）

<報告>

2017年法人総会

4月22日（土）丹波の森公園にて
1部 総会行事



○ 4月未杜カフェ

マエストロ足立さんによる南米音楽のひとつき
（南米楽器を使った演奏と歌）



○ 5月未杜カフェ

市島町南の自治会長さん等の案内でさわやかな五月の風に吹かれながら神池寺登山口付近の
クリンソウを見学しました。かわいい花がたくさん
自生しており参加者の感動の声が聞こえてい
ました。



真剣な表情



男性もがんばっています

○ 6月未杜カフェ

氷上町伊佐口在住の瀬田さんにお世話になり
そば打ちを体験しました。
元兵庫県立大学教授、力宗先生にも教えていた
だきました。



そば粉が手にくっついて離れません！

会員 紹介

川西市の後藤万欣子さんです

未杜のみなさん、こんにちは。

私は川西市に住んでおりますが、赤井俊子さんと高校の同期で、卒業後仲良くしていただき現在もいろいろ教えてもらっています。赤井さんのこの活動を知って随分前に入会しましたが何しろ遠方でもあり活動にもなかなか参加できず、名ばかりの会員で今日に至っています。



私はごく平凡な主婦として大半を過ごし、60歳を目前に何か人様にお役に立てることはないかと思っていた時民生委員をさせていただくことになったのです。お一人暮らしの方々の訪問と地域の福祉活

動をさせていただきながら地域の現状と福祉の取り組みを勉強させていただきました。自治会や福祉委員会によってそれぞれ相談窓口、家事援助、緊急時の見守りなど進められていますが、高齢化の進む中で対応しうるこれからの地域づくりの難しさを感じています。

年齢を重ねた今、私自身は 街歩きウォーキング、ストレッチ体操、テニス等で体を動かしながら、近隣に住む高校同期の友人、元民生委員の仲間達、子育て時代から共に助け合った仲間 趣味(いろんなことに挑戦しています)を通して知り合った友人達などとの交遊を深めています。たわいないおしゃべりの中から生活に生かせる情報を互いに得ることが多く楽しんでいます。これからも多くの方との出会い、つながりを大切にしていきたいと思っています。

<未社会員さんに提案します>

東野忠満

地域通貨の役割は2つあると思います。それは地域経済の活性化と地域コミュニティの再生です。そんな中で未杜の活動は危機状態です。

未杜では、いろいろな事業を通じ、又はモノやサービスの取引を通じて見知らぬ人であっても容易に親しくなれます。しかしながら親しくなりすぎると未杜の交換なしで交換するようになります。一旦親しくなってしまうと未杜を使う意味がなくなってしまうのです。親しい中では未杜を使う意味がなくなるのです。未杜をもらってもあまりうれしくない。たくさん溜まっても使えるところが少ない、カード記入が面倒だ、というようなことのように。これは地域での人と人の出会いが豊かになり コミュニティが豊かになっていることでもあります。しかし地域経済の関してはその目的「従」になっていると思います。ならば使うところを多くして「コミュニティ・・・」と「地域経済・・・」を同じように進めていけるように知ればいいと思います。そうするにしても未社会員だけでは荷が重すぎます。それで市役所、自治協議会、社会福祉協議会、商工会、観光協会、コープ、農協、信用金庫などと話し合って実行委員会形式ですすめるのはどうでしょうか。それぞれと話し合っても協力してくれるところ、無理だというところがあるでしょうが協力をお願いできるところから徐々に進めていけばよいと思います。「必ずできる」と信じてやりたいと思います。

◎この提案に対して西部先生からコメントをいただいています。別紙をご覧ください

寄付をしていただきありがとうございました。

○丹波の宿恵泉さん(春日町)

○大野義昭さん(埼玉県)

○由良ゆかりさん(氷上町)

○一般 岩垣加代子さん(市島町)